

医療安全ことはじめ

編：中島和江・児玉安司／医学書院

定価：3,150 円(本体 3,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■2000 年の『ヘルスケア・リスクマネジメント』(医学書院刊)から 10 年、わが国の医療機関は医療安全対策を重要課題として取り組んできた。一方で、リスクマネジメントは訴訟対策を第一義とする考え方も根強い。そこで本書では、大学病院の医療安全を推進してきた教員と法律面から検証してきた弁護士が再びタッグを組み、医療安全の本質を問い直し、わが国に最適な医療安全を模索する。時代が看護教育に求める知識基盤を提供する 1 冊。

患者参加の質的研究

会話分析からみた医療現場のコミュニケーション

編：S. Collins, 他／監訳：北村隆憲・深谷安子／医学書院

定価：3,570 円(本体 3,400 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■チーム医療はもはや当然の感があるが、患者参加という側面は、医療者側、患者側双方にどのくらい実感されているだろうか。医療職と患者の実際の会話を分析し、質的研究方法を組み合わせて検討した本書は、会話分析の手法を学ぼうとする研究分野はもちろん、医療コミュニケーション必須の教育現場、患者とのコミュニケーションに課題を抱える臨床現場の人たち、すべてに興味深いである。



妊娠・授乳と薬の知識

飲んで大丈夫？ やめて大丈夫？

編著：村島温子・山内愛／医学書院

定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

■看護学生が知っておきたい「妊娠」と「薬」の知識。院内助産所、助産外来と、助産師がお産以外の場面で妊婦とかかわる機会が今後増えることが予測される。「妊娠を知らずに薬を飲んでしまった」「慢性疾患で薬が欠かせないが妊娠した」「サプリメントは問題ない？」etc. 相談を受ける助産師・看護師に必須の妊娠・授乳にまつわる薬の知識について基本事項を概説し、薬剤・疾患ごとに「ケース」を引いて詳述。相談機関の紹介も。

質的研究を科学する

著：高木廣文／医学書院

定価：2,100 円(本体 2,000 円＋税)／TEL：03-3817-5657

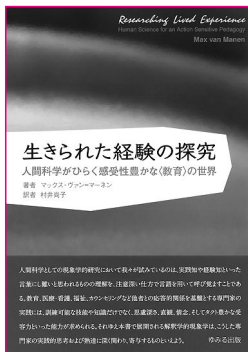
■好評既刊『ナースのための統計学』で統計という研究ツールをわかりやすく紹介した著者が、看護などで行われる「質的研究」を「心的存在の中に生起する現象(コト)を扱う」研究として「量的研究」と区分したうえで、質的研究によく寄せられる批判的な質問に応えるかたちで、その科学性の立証を試みる。“質的研究は科学であり、エビデンスをもたらすものである”との確信に近づくために。

質的研究

を 高木廣文

科学する

“質的研究は科学であり、エビデンスをもたらすものである”という確信を、すべての質的研究者に！
統計学のスペシャリストが、臨床中、看護士業務で、リアルタイムに質的研究を学ぼう！
質的研究の科学性を確信する読者に！



生きられた経験の探究

人間科学がひらく感受性豊かな〈教育〉の世界

著：マックス・ヴァン＝マーネン 訳：村井尚子／ゆみる出版

定価：3,150 円(本体 3,000 円＋税)／TEL：03-3352-2313

■本書で扱う〈教育〉は Pedagogy は、教育＝Education と区別され、その本質は、まさに「生きられた体験(lived experience)の探求」にある。先人の、また同時代のすぐれた専門家の「否認的と思われるものの理解を、注意深い仕方と言語を用いて呼び覚ま」(「序文」より)し、解釈学的現象学研究のアプローチの神髄を伝える。教える人にも、研究する人にも！

グランデッド・セオリー・アプローチ 実践ワークブック

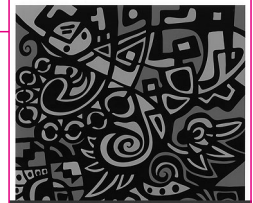
編：戈木クレイグヒル滋子／日本看護協会出版会

定価：2,520 円(本体 2,400 円＋税)／TEL：03-5778-5640

■研究の初歩をあゆむ人たちが待望のワークブックが登場した。グランデッド・セオリー・アプローチの自己学習のために、研究のスタートから概念理解から分析手法までを丁寧に解説。各段階に練習問題を設定し、データや現象を複眼的かつ系統的に捉える方法を緻密な組み立てで展開する。練習問題に関連するすべての資料を別冊に仕立て、ブログで質問を受け入れるなど、立体的な学習を可能にした。

グランデッド・セオリー・アプローチ 実践ワークブック

編者 戈木クレイグヒル 滋子



グランデッド・セオリー・アプローチの自己学習に最適！
本書は、研究のスタートから概念理解から分析手法までを丁寧に解説。各段階に練習問題を設定し、データや現象を複眼的かつ系統的に捉える方法を緻密な組み立てで展開する。練習問題に関連するすべての資料を別冊に仕立て、ブログで質問を受け入れるなど、立体的な学習を可能にした。

教育学の被抑圧者



新訳 被抑圧者の教育学

著：パウロ・フレイレ／訳：三砂ちづる／垂紀書房

定価：2,625 円(本体 2,500 円＋税)／TEL：03-5280-0261

■「人間の使命とは、『より全き人間であろうとすること』だろう」(本文より)と語る原著者パウロ・フレイレは、入れ物に知識を詰め込むような「銀行型教育」を否定する。本書はその代表作として、1979 年の日本語初版から 13 版を重ねてきた。フレイレの故郷ブラジル北東部で 10 年、助産に携わってその特有の言葉づかい、息づかいのなかで暮らした訳者が、フレイレ教育学の核心を伝える。

ホスピスが美術館になる日

ケアの時代とアートの未来

著：横川善正／ミネルヴァ書房

定価：2,310 円(本体 2,200 円＋税)／TEL：075-581-5191

■『誰も知らないイタリアの小さなホスピス』(2005 年、岩波書店刊)で、「ターミナル・アート」という言葉を紡いだ著者が提案する、ケアの時代におけるアート。生命の終わりを見つめるホスピスにこそ、本当に輝く「いのち」がある。その「いのち」を美しく包むことこそ、アートの役割、「副作用のないモルヒネ」(「あとがき」より)だという。綴られる言葉から立ち上がる光景も美しい。

ホスピスが
美術館に
なる日

ケアの時代とアートの未来

横川善正

「美が死を
つつんで
いる。」
推薦！
川崎和男氏
「ターミナル・アート」
著者 横川善正氏